



自民総裁 高市氏

初の女性首相へ

29票差、小泉氏破る

自民党総裁選は4日、党本部で投開票され、高市早苗前経済安全保障担当相(64)が第29代総裁に選出された。1回目の投票で過半数に達した候補者はなく、上位2人による決選投票の結果、高市氏が185票を

獲得し、小泉進次郎農相(44)に29票差をつけた。15日召集を軸に調整が進む臨時国会で、石破茂首相の後継となる第104代首相に指名される公算が大きい。女性の首相就任は史上初。衆参両院で少数与党の中、

政権安定化に向けた連立枠組みの拡大が焦点となる。総裁任期は、石破首相の残り任期に当たる2027年9月まで。高市氏は幹事長など党役員人事に着手し、新執行部を発足させる。参院選後の「石破降ろし」で生じた党内の亀裂修復のため、挙党態勢を構築できるかどうか問われる。

ある積極財政派を自任し、経済成長のため赤字国債の増発を容認するなど他候補と異なる主張が目立った。保守層を意識した外国人政策の強化も公約に入れた。首相に就任した場合の早期の衆院解散は否定している。靖国神社参拝を続けるかは明言を避けている。総裁選には、林芳正官房長官(64)、小林鷹之元経済安保相(50)、茂木敏充前幹事長(69)も立候補した。



自民党総裁選の決選投票前に演説する高市早苗氏＝4日午後2時4分、東京・永田町の党本部

自民党総裁選を巡る経過

- 7月20日▶参院選で自民党大敗。石破茂首相は続投意向を表明
- 8月27日▶総裁選挙管理委員会が総裁選前倒しの是非に関する党内の意思確認手続きを決定
- 9月7日▶首相が退陣意向表明
- 10日▶茂木敏充前幹事長が立候補を表明
- 16日▶小林鷹之元経済安全保障担当相が立候補を表明
- 18日▶林芳正官房長官が立候補を表明
- 19日▶高市早苗前経済安保相が立候補を表明
- 20日▶小泉進次郎農相が立候補を表明
- 22日▶総裁選告示
- 26日▶小泉氏が、陣営によるインターネット配信動画への「やらせ投稿」要請問題を受け陳謝
- 10月3日▶党員・党友の投票締め切り
- 4日▶総裁選投開票

高市 早苗氏(たかいち・さなえ) 神戸大卒。松下政経塾、民放キャスターを経て93年に無所属で衆院初当選し、96年に自民党入党。沖縄北方担当相、党政調会長、総務相、経済安全保障担当相を歴任した。64歳。奈良2区、当選10回。無派閥。